



2011年3月25日 No. 7

# 東北地方太平洋沖地震 連合救援ニュース

発行 連合・災害対策救援本部

電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547

[soshiki@sv.rengo-net.or.jp](mailto:soshiki@sv.rengo-net.or.jp)

日本労働組合総連合会(連合), <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

## 1. 雇用・労働に関する緊急対策を厚生労働省に要請

連合本部は3月25日夕刻、震災の影響に対する緊急対策について、厚生労働省に要請を行います。

震災から2週間が経過した今でも、直接被災された方、避難中・復旧作業中に災害に巻き込まれた方、工場・事業所等の損壊により休業・離職を余儀なくされた方など、影響が広範囲に広がっています。連合は、現地で働く労働者等からの意見も集約し、雇用・労働行政に関する不安を取り除くとともに、生活支援対策、復興対策を一刻も早く構築することを求めます。

(要請のポイント)

- 避難所等において、求職支援、雇用保険・労災保険の手続き相談、労働相談(賃金・解雇)、メンタルヘルス相談等をワンストップで実施するための体制強化
- 被災労働者及びその遺族に対する労災保険給付の請求促進、迅速な支払と復旧事業に関する安全衛生対策の強化
- 雇用保険や未払賃金立替払制度、雇用保険失業給付特例措置等についての必要な見直しの検討
- 雇用の維持支援に向けた雇用調整助成金の特例措置の周知徹底と更なる要件緩和・水準引き上げ
- 被災地の復興に向け、地域の雇用を創造する戦略的な産業構築への支援
- 「求職者支援法案」の早期成立と、被災地域における職業能力開発訓練のための公的な拠点的設置

## 2. 秋葉原で街頭救援カンパを実施しました

3月25日8:30~9:30に秋葉原駅前にて、連合本部および構成組織役職員、計50名が街頭でカンパを呼びかけました。通勤時間帯ということもあり、急ぎ足で出勤される方も多くなか、約1時間の取り組みで、152,475円ものカンパ金を頂戴しました。連合は今後も街頭でカンパを募り、被災された自治体などへ救援金として活用させていただきます(具体的な使途については連合ホームページに掲載します)。

今後の取り組み予定

- ①3月25日 17:30~18:30 JR 秋葉原駅前
- ②4月1日 8:30~9:30 JR 神田駅前
- ③4月1日 17:30~9:30 JR 神田駅前

全国各地でも街頭で救援カンパを実施しています。被災地支援のため、がんばりましょう。



### 3. 在日ビルマ人もカンパ活動を実施

日本に在住されているビルマ(ミャンマー)人の労働組合や民主化に取り組んでいる在日ビルマ人の皆さんが、今回の震災被災者を支援するためにカンパ活動を行っています。

2008年にサイクロン・ナギルスがビルマを直撃し、約14万人の死者・行方不明者と大災害となりました。当時、連合が特別カンパで支援を行ったことから、在日のビルマ人の皆さんが、私たちもカンパや支援活動を通じて、少しでも恩返しができるほどの思いで始めていますと、マウン・ミンニョウ・ビルマ日本事務所・事務局長が語ってくれました。

### 4. 災害対策救援のキャッチフレーズが決まる

連合は本日の対策救援本部会議にて、災害対策救援に関わる一連の取り組みについて、統一的に使用するキャッチフレーズ、およびロゴを決定しました。(ロゴデータはホームページからダウンロードできます)



連合は、この「つなごろう NIPPON」を合い言葉に、働く者の代表として、労働組合の社会的役割を果たすべく、被災地の支援・復興に、680万人の組織をあげて取り組みます。

以上